

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。



非ピリン系解熱鎮痛薬

日本薬局方 アスピリン錠

バイエルアスピリン®

®：ドイツ・バイエル社登録商標

特徴

バイエルアスピリンはドイツ・バイエル社が開発した非ピリン系の解熱鎮痛薬です。有効成分アスピリン（アセチルサリチル酸）が、痛みや熱の原因物質の生成を抑えます。バイエルアスピリンに含まれるアスピリンには、微小で均一な結晶が使用されています。胃腸で早く溶け、速やかに吸収されるので、痛みや熱によく効きます。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる】

1. 次の人は服用しないでください。

- (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)15歳未満の小児。
- (4)胃・十二指腸潰瘍を起こしている人。
- (5)出血傾向（手足に点状出血、紫斑ができやすい等）のある人。
- (6)出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないでください。

4. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)授乳中の人。
- (4)高齢者。
- (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病
- (7)次の病気にかかったことがある人。
胃・十二指腸潰瘍



2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|------------------------------------------------------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ、青あざができる |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、胃痛、腹痛、下痢、血便、消化管出血 |
| 精神神経系 | めまい |
| その他 | 鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中への痛み、過度の体温低下、浮腫、貧血、耳鳴、難聴 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|--------------------|-------------------------------------------------------------|
| ショック （アナフィラキシー） | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

| 症状の名称 | 症 状 |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。 |
| * <u>アレルギー反応に伴う 急性冠症候群</u> | <u>しめ付けられるような胸の痛み、息苦しさ、胸を強く押さえつけられた感じ、あごの痛み、左腕の痛み、さむけ、ふらつき、発汗、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、かゆみ、じんましん、発疹、のどのかゆみ、動悸等があらわれる。</u> |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |
| 再生不良性貧血 | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。 |

3.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果

- ・頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・月経痛（生理痛）・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- ・悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

| 年 齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|-----------|---------|----------|
| 成人（15歳以上） | 1錠 | 3回を限度とする |
| 15歳未満の小児 | 服用しないこと | |

★服用の際はコップ一杯の水とともに服用してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)定められた用法・用量を厳守してください。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように、錠剤の入っているシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、錠剤を取り出して服用してください。（誤ってシートのままのみこんだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



成分と働き

バイエルアスピリンは白色の錠剤で、1錠中に次の成分を含んでいます。

| 成 分 | 含量（1錠中） | 働 き |
|----------------------|---------|-----------------|
| アスピリン (アセチルサリチル酸) | 500mg | 熱をさげ、痛みをやわらげます。 |

・添加物として、セルロース、トウモロコシデンプンを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります）。
- (4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

本品についてのお問い合わせ先

- ・お買い求めのお店
 - ・佐藤製薬株式会社
- お客様相談窓口：電話 03(5412)7393
受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構
https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元



バイエル薬品株式会社
大田市北区梅田二丁目4番9号

発売元



佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号